

# 昭和五十九年度現代宗教研究所事業報告

## 1 第十七回中央教化研究会議開催

期 日 昭和五十九年九月六日(木)・七日(金)

会 場 池上本門寺・朗峰会館

趣旨・目標

(1) 私たちの教化活動は、現代に立正安

国の精神をひろめ、信仰をくらしに

いかす信行活動にとりくみ、お題目

の輪をひろげていくことです。『だれ

にでもできる信行会づくり』につい

て話合いしましょう。

(2) 「信行宗門」「伝道宗門」をめざして

これまで行ってきた教化活動をさら

に推進し、一カ寺一信行会づくりに

とりくむための信行会活動計画につ

いて語りあいましょう。

統一テーマ 生き生きとした信行会活動のあり方に

討議形式 分散会

討議のポイント  
(順不同)

ついで語りあおう。

分散会

① 信行会の組織をどのようにしてつくりましたか。どんな内容で進めていますか。

② 信行会をどんな名称で開いていますか。

③ 信行会の運営費はどうやってつくっていますか。護持会との関係はどうしていますか。

④ どんな教材を使っていますか。

⑤ 呼びかけの仕方はどうやっていますか。

⑥ 日時や時間割はどうしていますか。

⑦ 仲間意識を持たせたり、リーダーの

育成に悩みがありますか。

いきます。

⑧参加者は何を求め何を話題にしていますか。参加者にどんな導き方をしていますか。

⑨停滞・マンネリ化の原因について考えてみませんか。生き生きとした信行会づくりと運営について成功例・失敗例を持ちよって考えてみませんか。

⑩信行活動の情報交換や信行会の交流のため教化センターづくりの方策にとりくみましょう。

一日目の全体会議で行います。

二日目の全体会議でパネルディスカッション形式で行います。

まとめ報告をふくめて「信行会活動のすすめ」と題して今後の方向を考えて

## 2 地域教化研究会議開催

(イ) 第八回中四国教区教化研究会議

六月十四・十五日 於高知市三翠園

研究テーマ「開宗七五〇をめざし宗門興隆のための檀信徒を含む青壮年層の教化・育成をいかに進めるか、その具体的方策を探る」

分科会テーマ「未信徒を対象とした青壮年層教化育成の具体策」「寺院・教会・結社の現状に即した教化育成の方策」

(ロ) 第六回九州教区教化研究会議

六月二十一・二十二日 於佐賀市山水荘

総合テーマ「日蓮聖人の教えに生かされた現代の布教活動」

分散会テーマ「信行会体験発表」「信行会活動のすすめ」「その他」

(ハ) 第八回北海道教区教化研究会議

八月二十三日 於旭川市妙法寺

問題提起・信  
行会体験発表  
のすすめ  
信行会活動

(二) 第一回北陸教区教化研究会議

十一月十六日 於石川県金沢市立像寺

統一テーマ「北陸日蓮宗寺院の現状と将来を考へる―現代に対応した魅力ある教化活動をめざして」

分科会テーマ「信行会等の組織運営をどう進めるか」「対社会的布教を活性化させるために未信徒、青少年教化について」「後継者問題と法器育成について」

(ホ) 第一回静岡県教化研究会議

十一月二十一日 於富士市妙法寺

統一テーマ「わたしは教化活動をこのようにしています」

分散会テーマ「寺院活動の中で」「社会活動の中で」

「青年教師として」

(ハ) 第十回京浜教区教化研究会議

十一月二十七日

テーマ「都市及び都市化地域における、これからの教化活動」

(ト) 第二回山梨県教化研究会議

十一月二十七日 於身延町清水房

統一テーマ「法器養成の場を考へる」

分科会テーマ「布教的側面から考へる」「経営的側面から考へる」「教育的側面から考へる」

(フ) 第十四回近畿教区教化研究会議

統一テーマ「生き生きとした信行活動の在り方について語りあおう」

分科会テーマ「年中行事等における信行活動」「教師としての信行活動」「檀信徒としての信行活動」

(リ) 第二回千葉県教化研究会議

昭和六十年二月二十七日 於東金市千葉ドライブ

イン

テーマ「寺院―その管理・運営・墓地―それと

りまく諸問題」

分散会テーマ「寺院―その管理・運営・墓地―それと

(ヌ) 第八回中部教区教化研究会議

三月二十九日 於愛知県名古屋

分散会テーマ「寺院―その管理・運営・墓地―それと

3 研究・調査活動

(1) 研究例会・研究員会議の開催

日蓮主義、日蓮聖人の教説の今日的適用と思想化の把握をめざして、田中智学著『宗門之維新』を各研究員分担でまとめ発表し、智学の教化組織、布教制度について学習し研究した。研究し討論した結果を、古河研究員がまとめ報告した(本誌に掲載)。九月二十八・二十九日第三十七回日蓮宗教学研究発表大会が宗務院にて開催され、本研究所より主任・所員四名が研究発表した。

地域社会の変容と寺院問題

— 島根県大森地区の場合 —……………所員 高橋謙祐  
地域社会の変容と寺院問題

— 北海道東部の場合 —……………主任 久住謙是  
北海道開拓と宗教移民

— 日宗村の場合 —……………所員 望月兼雄  
小川泰堂と智英日明『新撰祖書』について

(2) 研究講座・教化学研究集会の開催

主任 石川教張

研究講座・第三回教化学研究集会を、三月、大阪市雲雷寺にて開いた。その発表は次の通りである。

研究講座

現代における死の問題と臨終正念について

現宗研所長 宮崎英修

教化学研究発表(要旨は本誌に掲載)

カウンセリング(電話相談)……………清瀬常童

私の仏教保育……………田中恵康

青少年問題を考える……………丸山良光

修法による教化について……………植田観泰

また、「茂田井・宮崎両先生に聞く。教団論―日蓮宗を考える」と題して、研究講座・第四回教化学研究集会を宗務院にて開催した。発表要旨は、「現代宗教学研究」十九号(本誌)に掲載した。三月に、第五回教化学研究集会を近畿教区にて開催する予定である。

(3) 教化に関する資料を収集し、図書資料目録の作成

にむけてカード化し、分類、保管した。

(4) 日蓮教団史資料として、影山堯雄編『日蓮宗年表』を補訂、原稿化した。

(5) 各種資料より「日蓮宗年表五十八年」「地域教化研究会議の歩み」を編集作成し、「教化の友」編集に協力した。

(6) 仏教各宗派教化関係研究所と交流を持ち、研究交流会議などに参加して教化問題並びに教学と教化の接点について意見や情報の交換を行なった。他宗派教団の資料、情報を収集し保管した。

(7) 過疎地域寺院の実態調査の実施

五月、島根県横田町・大田市大森地区における過疎寺院や崩壊寸前の寺々の現況を踏査し、また六月同県隠岐島にみられる離島布教の現状と離島の布教問題を調査した。さらに北海道東部の寺院の状況並びに陸別町法華村について資料を収集してその歴史と実態を明らかにした。次いで、千葉県東部寺院についても現況調査した。島根・北海道寺院の調査は本誌（現代宗教研究十九号）に報告し、千葉県寺院に

ついては、本年度もさらに調査を進める予定である。

(8) 千葉県香取郡松崎檀林、並びに養安寺檀林を調査し、関係史料を収集した。この調査において、日蓮聖人御真蹟断片二点を発見し、四点を確認した。

(9) 「現代宗教研究」へ特集・寺院実態調査報告Ⅱ（第十九号）を編集し発行した。

(10) 顧問会議・嘱託会議・研究員会議・研究例会を開いた。